

# 自立活動だより

令和8年度 第1号

令和8年4月23日発行

佐世保特別支援学校 自立活動部



新学期がスタートして2週間が過ぎました。子供たちは、新しい環境に緊張しつつも、少しずつ教師や友達に慣れて、毎日の学習に取り組めるようになってきています。

さて保護者の皆様は、「自立活動」の時間について、「どんな学習をしているのかな?」と気になられるところかと思えます。自立活動だよりでは、各部の自立活動の取組の様子や、その他のお伝えしたい情報を、保護者の皆様にご紹介していきます。第1号では、「自立活動って何?」「自閉症指導スタンダード」「自立活動部」についてお伝えします。

## 1 「自立活動」って何?

自立活動とは、「個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う」(特別支援学校学習指導要領から)というねらいの下に設けられている領域です。自立活動では児童生徒一人一人の学校や家庭等での学びや生活がより充実したものにするための基盤作りとなる学習をします。

自立活動の学習内容は、以下の6区分に分類・整理されています。自立活動は、児童生徒の実態や、「将来こうなりたいな」という本人や保護者の願い等を踏まえて個別に目標を立て、以下の6区分の学習内容を関連させながら実践する教育活動ですので、リハビリ・訓練と異なることをご理解ください。

### <自立活動の6区分>

健康の保持	(健康状態の維持に関すること)
心理的な安定	(気持ちの安定に関すること)
人間関係の形成	(自分や他者のことを知ったり、集団へ参加したりすることに関すること)
環境の把握	(周囲の状況を理解する力に関すること)
身体の動き	(身体の動きや使い方に関すること)
コミュニケーション	(意思の疎通に関すること)

### <学習の例>

課題の例)「自分で姿勢を保つことが難しい。」



課題の例)「友達に関わろうとしない。」



課題の例)「教師や友達の言葉にすぐにいら立ってしまう。」



## 2 自閉症指導スタンダードについて

自閉的な傾向等のある児童生徒に関わるときに必要な共通のスタンス(学校としての指標)を示すものとして、「自閉症指導スタンダード」を作成し、教職員の専門性向上を図っています。

本校では、常にこの10項目を念頭に置きながら、普段の指導・支援に当たるようにしています。ご家庭でも役立つヒントがあるかもしれません。詳しくは、本校のHPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



- 1 説明や指示は、簡単に、かつ具体的にしよう
- 2 コミュニケーションスキルを高めさせよう
- 3 予定変更は、本人が分かる方法で伝えよう
- 4 いつ、どこで、何を、いつまで(どれくらい)、どのように、終わったら次に何をするか、を明確に伝えよう
- 5 独特の感覚があることを理解しよう
- 6 教室の掲示などをシンプルにしよう
- 7 様々な場面で使えるスキルを育てよう
- 8 こだわりは、本人の不調・不安のサインとしてとらえよう
- 9 気持ちを切り替える方法や、コントロールする力を身に付けさせよう
- 10 その行動が適切であったか振り返らせよう

## 3 自立活動部について

本校では、自立活動部及び自立活動専任を置き、自立活動の時間における指導に関する相談、児童生徒の学習の課題や学習に必要な補助具の調整、外部専門家来校時のコーディネートなど、自立活動の指導に関する校内支援や外部との連絡調整を行っています。

自立活動に関するご相談は自立活動部員に遠慮なくお尋ねください。

### 令和8年度自立活動部員

#### あたご部門

- (小) 出口 厚      村田 朋慧  
(中) 尾崎 秀典   永川 萌  
(高) 宮地 悠      亀井 ひろみ   古賀 文子

#### わかす部門

- (小) 江口 友和   川原 大知  
(中) 田上 昌利(専任)  
(高) 中山 貴恵



1年間よろしくお願ひいたします!

